

山元町議会議長 阿部 均 殿

産建教育常任委員会  
委員長 高橋 建 夫

### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり終了したので報告します。

#### 記

#### 1 調査事項

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| (1) 教育環境整備について         | 10月17日・10月31日・11月16日 |
| (2) 津波防災区域（災害危険区域）について | 10月 3日・11月16日        |
| (3) 駅前駐車場の管理運営について     | 10月 3日・11月16日        |

#### 2 調査結果

##### (1) 教育環境整備について

小中学校の教育環境整備の現状について説明を受け、小学校の現地調査を行った。

##### 考察

学校施設の整備については、軽微な修繕を進めているところではあるが、老朽化の著しい校舎における児童・生徒の安全安心確保のため、早急な改修が必要である。また、エアコン設置は早期実現を目指すべきである。

学力向上については、各校ごとの取り組みは見受けられるが、なかなか厳しい状況である。さらなる向上については、小中学校の連携を含め、これまで以上の教育委員会、町のバックアップ体制を図られたい。

##### (2) 津波防災区域（災害危険区域）について

災害危険区域条例制定に関する背景、経過及び問題点、さらに今後の区域の見直しについて調査を行った。

##### 主な質疑内容

- ① 3線提（坂元地区四番作道のかさ上げ）はいつできるのか。
- ② 2線提が当初計画より低くなったのは何故か。
- ③ 国が技術的検証を行うのはいつか。
- ④ 他自治体の危険区域の設定は実浸水区域の約30%なのに対し、山元町は81%と広く設定したのは何故か。

⑤実際の越水量と新防潮堤設置後の越水量の差の比較データを出すべきではないか。

⑥危険区域の見直しをするべきではないか。

なお、シミュレーションの結果、実浸水深とほとんど変わらないので現時点では見直しはしない。1・2種区域（3種区域は除く）を変更した場合、補助金の返還が求められるなどの問題が発生するので、現時点での見直しは難しいとの報告があった。

#### 考察

危険区域の設定は、浸水区域の81%は広すぎる。また、町のイメージダウンにもなる。制度上、1・2種区域は今後の課題としても、3種区域は定住促進に十分寄与できる地域である。国の補助金返還に影響もないことから早急に見直しを図るべきである。さらに3線提の整備も早急に進めるべきである。

### (3) 駅前駐車場の管理運営について

山下、坂元の駅前駐車場運営内容について、不公平性の払拭、利便性の向上など、更なる利用者の増加を図るため、月極料金を取り入れる見直し作業がなされているのか、進捗状況について調査を行なった。

#### 考察

坂元駅前駐車場の運用に合わせ、山下駅前駐車場でのプリペイドカード利用料金の見直し作業がなされてきているのは評価する。しかし、駐車場の空きスペースの有効活用や、通勤・通学利用者のためにも、一日でも早い対応をすべきである。